

講義名	観光地計画論		
科目区分	全学フリー		
担当教員	白砂 伸夫		
開講期・曜日・時限	前期集中 その他 その他		
	2014年度 商学部 商学科 / 2013年度 商学部 商学科 / 2012年度 商学部 商学科 / 2011年度 商学部 商学科		
履修開始年次	1 年生	単位数	2
		講義コード	73034

主題と概要

観光立国推進法は、地域における創意工夫を生かした主体的な取組みを尊重しつつ、地域の住民が誇りと愛着を持つことのできる活力に満ちた地域社会の持続可能な発展を通じて国内外からの観光旅行を促進するものである。この授業ではフィールドワークを通して体験的に観光を学ぶことが主題である。すなわち既存の観光施設をリサーチすることではなく、地域の空間やものを自分の目と足で確かめ、観光的価値を発掘する、いわば「宝探し」であり、それをグループワークでブラシアップすることで地域観光を計画しプレゼンテーションする。

到達目標

地域の空間として立ち現れる様々な事象の中から観光的価値を見抜く力を養い、それをレポートにまとめ上げる能力を身につける。グループワークでは、多様な意見を受け入れ、協働してまとめ上げる協調性を確立する。プレゼンテーションでは、地域の宝探しで発掘したものがいかに素晴らしいかを表現する。

提出課題

レポート：地域の宝物を探し、レポートとしてまとめる。グループワークでは全員の意見をPPTにまとめる。その二つのレポートを提出課題とする。

評価の基準

レポート提出（40％）、発表（30％）、授業態度（30％）

履修にあたっての注意・助言他

本講義は集中講義であり、4日間で授業を完了する。観光を体験的に学ぶために学外演習を実施するので、遅刻欠席をしないこと。チームでレポート作成、発表を行うので協調して行うこと。

教科書

「宝探しから持続可能な地域づくりへ：日本 真板 昭夫 学芸出版社 2592 4761524901
型エコツーリズムとはなにか。

プリント資料及び参考文献

授業計画

1. ガイダンス授業の内容と進め方について説明。資料配布。
2. 観光地計画の事例紹介。
3. 地域資源の発掘方法についての解説。
4. ICTを活用した地図の読み方と分析。
5. チームビルディング。
6. フィールド調査方法の解説。
7. フィールド調査、現地の注意事項。
8. フィールド調査。
9. フィールド調査。
10. フィールド調査。
11. フィールドで調査した資料の整理
12. フィールド調査の資料のまとめ
13. フィールド調査の分析
14. プレゼンテーションの資料づくり
15. プレゼンテーションと評価

予習・復習

事前にフィールド調査する場所を確認しておくこと。授業の終了後にレポートをまとめ、次の授業の予習をしておくこと。

備考